

中教審高大接続特別部会第2回 探究型学習と大学入試 京都市立堀川高校の取り組みを通して

20121031 京都市教育委員会教育企画監
荒瀬 克己

1

-
- 1908年 京都市立堀川高等女学校創立
 - 1948年 京都市立堀川高等学校創立
 - 1995年 京都市立高等学校21世紀
構想委員会
＜高校改革パイロット校指定＞
 - 1998年 準備部設置
 - 1999年 普通科に加えて
人間探究科・自然探究科開設

2

2002年 文部科学省スーパーサイエンス
ハイスクール(SSH)研究指定

2009年 SSH中核的拠点育成プログラム

2010年 コアSSH(成果普及と才能教育)

研究開発の柱

2002年～ 未来の科学者の養成

2005年～ 質問力育成

2010年～ 言語力育成

3

第五十一条 高等学校における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 義務教育として行われる普通教育の成果を更に発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。

二 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること。

4

三 個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。

○批判的思考力とは、情報を観察し、分析し、論証し、最終的には 自分の意見を提示する一連の思考技術。

三森ゆりか・つくば言語技術教育研究所長
「内外教育」2010年11月16日第6037号

5

中高接続プロジェクト

京都市の中等教育の

「質保証」を実現するために

めざすべきキャリア教育の実現

生徒が将来、自立・自律した市民としてよりよく生きるため、中等教育の中で一貫して生徒の力を引き出し、学び続ける意欲を育てることを目的として、中学校と高等学校の接続を図る。

6

ミッションは何か？

○いったん「自信」を捨ててみることで
見えるものもあるのではないか？

○何のために？ 誰のために？

善意や誠実の落とし穴に
陥っていないか？

従来のやり方は今も効果的か？

固定的に見ていないか？

自分の子どもを行かせたい学校か？

キャリア教育＝逆算の進路指導

品川女子学院「28プロジェクト」

堀川高校「自立する18歳」

10年後からの要請に応える

○学習意欲(学び続ける力)

○市民性(自立と社会参加)

京都大学IPS細胞研究所長 山中伸弥教授

(子どものころ)外側から見えない内部
の仕組みが知りたかった

(実験で予想と異なって)

なぜこうなったんだろう？

もう少し突き詰めてみよう

予想外の結果に興味

ワクワク

9

未知に向き合う

10

**大学院生たちの多くはそういった
ワクワクする心を失っている？**

**決められた答えを書かなければ
正解にならないテストの影響？**

**自然科学の世界は予想外の連続
仮説とは逆の結果が出たときこそ
新しい発見につながるチャンス**

正解は大切 しかしとらわれては

11

たとえば

不思議に気づける

試行錯誤に耐えられる

人と話し合える

複数の視点をもてる

工夫することを楽しめる

12

疑問が大切

「知りたい」という思いを抱き続ける

答えは容易に出ない

答えと思ったことが、新たな疑問や

悩みの始まりになるかもしれない

学ぶということは、それを繰り返すこと

そうすることで人は成長していく

13

学校改革

○探究型学習

○言葉と体験の重視

・・・「二兎を追う」 実は一つ

・・・ひとりの青年とわが国の未来

14

最高目標:「自立する18歳」を育てる

卒業して就職するとしたら
どんな力が必要になるのか？

それは、学校で学ぶこととは
無関係か？

そもそも大学に入学した後、
生徒たちはどう生きるのか？

15

たとえば・・・

○メタ認知能力(虫の目と鳥の目)

自分自身を認識する場合において自分の
思考や行動そのものを対象として客観的
に把握し認識する能力

○学習意欲(面白い・工夫しよう)

容易に答えの見つからない問いに対し
謙虚に立ち向かおうとする姿勢

○簡単には折れない心(復元力)

つらさ・さびしさ・困難への耐性、タフネス¹⁶

学校教育法第三十条 小学校における教育は、前条に規定する目的を実現するために必要な程度において第二十一条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

2 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、**基礎的な知識及び技能**を習得させるとともに、**これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力**をはぐくみ、**主体的に学習に取り組む態度**を養うことに、特に意を用いなければならない。

17

○2013年 新学習指導要領完全実施
中教審高等学校部会のテーマ
「多様性と共通性」

○学力の重要な三要素
基礎的基本的な知識・技能
それらを活用して課題を解決するために
必要な、思考力・判断力・表現力等
学習意欲

18

探究基礎

大切なのは学び方を学ぶこと

すべては君の「知りたい」から始まる

「知りたい」を見つける

容易に答えの見えない問題に

気づいて立ち向かおうとする力

19

課題解決能力

不思議に気づき(疑問や発見), 取り組むことのできる課題に設定して(構造化), 自ら解決を図る力

受けとる力 考える力

判断する力 表現する力

20

1年	前期	HOP: 「知る」基礎を学ぶ
	後期	STEP: 新たな知識を得る
2年	前期	JUMP: 探究を実践する

少人数講座
(ゼミ)

21

探究五箇条

- 知らないということを知れ
- 常識を学べ
- 常識を疑え
- 手と頭を動かさせ
- 朋と愉しめ

**試行錯誤や自問自答は青年の成長
を促す貴重な機会**

生徒による委員会で進行管理

PBL

バックヤード体験

リハーサルがいちばんおもしろい

**見えるものは見えないところで
準備されている**

24

JUMP(第3ステージ)へ

研究計画書

ゼミ担当者(教員・TA)が関門

研究内容の説明・交流

段取りを組む力

25

アウトラインの構築

どういう意味？ 定義

それ事実？ 根拠

なぜそうなるの？ 論理

問いかける重要性

体験の中での言語活動

27

ポスター形式の発表

完成した研究発表をするのではない
やりとりを通して気づきを生む機会

「探究基礎とは自問自答である」

「楽しんどい」

29

高校卒業までに養うべき学力は
高校の責任で(**重要な三要素**)

○ **基礎学力**を図る「 **共通テスト** 」

グレードで習得状況の把握

複数回受験が可能

卒業要件とはしなくてよい

30

高校卒業までに共通して養うべき
重要なこととして

○ **学習意欲**

生涯にわたって学び続ける力

未知や未体験に向き合う力

○ **市民性**

社会的・職業的自立に向けて

31

大学入試では

活用能力と学習意欲を把握できるような問題や面接等を

- 初年次の授業に必要な基礎学力は「**共通テスト**」を利用
- アドミッションポリシーの明示
- 複線化の検討